

## 令和四年度 入学式 式辞

早田川沿いの桜の花は、皆さんの入学を待ちきれずに舞い立ち始め、花びらの後には、すでに新緑の芽が輝いています。

この良き日に、令和四年度 岐阜県立岐阜北高等学校 の入学式に際し、PTA会長 西川 光美 様をはじめご来賓の方々、そして保護者の皆様方のご臨席を賜りましたことを、高いところからではございますが、心より御礼申し上げます。

ただ今、入学を許可いたしました三百六十一名の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生そして教職員一同、皆さんのご入学を心より歓迎しています。

この三月、岐阜県の中学校を卒業した生徒が約一万八千名、多くの生徒が岐阜北高校への進学を希望しながら、入学する生徒は、今ここにいる三百六十一名です。皆さんはその一人として、自分が選んだ岐阜北高校の制服を着て、岐阜北高の校章を付け、入学式に参加していることに誇りと自信を持ってください。そして、そのために努力することができた自分自身に感謝をするとともに、皆さんを導いてくださった中学校の先生方、励まし合い共に学んできた友人たち、そして何よりも、皆さんの日々の生活を陰に陽に常に支えてくださった家族の方々への感謝の気持ちを決して忘れないでください。

高校の価値は、校舎でも教員でもなく、その中にいる生徒が、どういう志を持って、どのように行動し、成長し、社会に出てどのように活躍しているのかによって決まります。これまでの岐阜北高校の価値や評価は、これまでの先輩方によって築かれてきましたが、これからの岐阜北高校の価値や評価は、皆さん一人一人の行動によって新たに築かれていくのです。

この2年間、新型コロナウイルスの感染拡大により、休校となったり、部活動ができなかったり、文化祭や体育大会、修学旅行など、様々な活動を経験する機会が奪われました。しかし、一方でICTが一気に普及し、オンライン授業やweb会議など新たな進化が生まれました。

本校の掲げるスクールポリシー、「荒野を拓く探究人」は、大きな災害や社会経済の変化があっても、その逆境を乗り越え、より良く進化し、新しい価値を生み出し、心豊かにたくましく自身の未来を切り拓いていく姿を求めています。

そのために皆さんには高校生活の中で、意識をして身に着けて欲しい力が三つあります。一つめは、自己の哲学の礎を築き、粘り強く物事に取り組むことができる力です。自分は何のために生きるのか、どのように生きるのか、自身の生き方、あり方を考え、その上で自分が決めたことに粘り強く取り組み、努力することができる力です。この力が皆さんを成長させてくれる原動力になります。スクールポリシーでは「自分を啓く」と表現しています。二つめは、「知」に貪欲になり、主体的・創造的に探究していく力です。学べば学ぶほど、さらに皆さんの視野が広がり、知的好奇心が広がり、新たな課題が見え、その解決策が見えてきます。それを楽しむことが本当の学問でありそれが将来の進路選択に繋がります。スクールポリシーでは、「自ら拓く」と表現しています。

三つめは、多様な他者と協働し、課題解決に向かうことができる力です。人は一人では生きていけません。何かを為すためには、多様な価値観を持つ人たちが互いに理解し合い、協力しなければいけません。実は、これが最も難しく、そして最も重要な力です。世界や人類の平和、そして自身の未来を切り拓くために最も大切な力であると考えます。スクールポリシーでは、「ともに拓く」と表現しています。

未来を生きる皆さんは、本校の校歌の言葉を借りれば、「尊き理想」を掲げ、「弛まぬ力」と「強き精神（こころ）」を持って主体的に、そして仲間と協働しながら、思考力や判断力を最大限に働かせて、未知の課題を解決し自身の未来を切り拓いて欲しいと思います。

高校三年間の学びを通して、単なる知識ではなく、そういう本当の「学力」を身に付けて欲しいと願っています。

皆さんは、自分の判断で高校を選択し、努力し、挑戦をした結果、今ここにいます。自分の意思で進むべき道を決めたのです。そして、ここはゴールではありません。人生は、常に選択と決断と挑戦の連続です。挑戦をすれば、できなかったことができるようになり、できるようになれば、さらに視界が広がります。視界が広がれば、挑戦すべき新たな目標や夢が、現実可能なものとして見えてきます。そして三年後には、法律的にも一人の大人として、自分自身が進むべき進路を選択する時が来ます。今日がその第一歩を踏み出すスタートラインであることを理解し、新しい挑戦が始まることに胸をときめかせてください。

岐阜県の宝である皆さんを預かる我々も、気持ちを引き締めて、皆さんとともに歩み、全力で支援をしていきます。初めての学び、初めて出会う仲間や先生、初めての行事や様々な体験に対して、決して恐れることなく、積極的に挑戦し、試行錯誤し、時には大きな失敗もしてください。その経験が、皆さんをさらに成長させます。

そして、厳しい学業も楽しみに変え、高校生活を豊かに充実させてくれるのが、今ここにいる三百六十一名の仲間です。皆さんが、お互いの人格や個性を尊重し、欠点や弱さも受け入れながら助け合い、励まし合い、高め合える関係であれば、高校生活の意義は数倍もなり、つらさや悲しみは半減するでしょう。一つ紹介させていただきます。今、この中に視力がほとんどない生徒がいます。彼女は盲学校から本校を受験し、皆さんと同じ学力検査をクリアして入学しました。皆さんと一緒に入場行進し、今、一年七組の席に座っています。彼女の挑戦が皆さんにも勇気を与え、彼女と一緒に過ごし、時に支援をしたり、配慮をしたりする経験が、皆さんを人として成長させてくれると信じています。

保護者の皆様におかれましては、お子様が晴れの入学式を迎えられ、感慨もひとしおのことと拝察いたします。本校としましても職員一同、精一杯努力していく所存です。何卒、本校の教育方針にご理解を頂き、教育活動に対し、ご支援とご協力をいただきますことを心よりお願い申し上げます。

新入生の皆さんの高校生活が実り多きものになることを願い、令和四年度入学式の式辞といたします。

令和四年四年八日

岐阜県立岐阜北高等学校校長 鈴木 健